

# MEXTAGE

## 第55期 中間 株主通信

2023年1月1日から2023年6月30日まで

- P.1 2023年 中間期の業績振り返りと今後の事業戦略
- P.3 2023年 中間期の業績を教えてください
- P.4 TOPICS  
2023年 中間期の主なトピックスを紹介します
- P.5 財務指標
- P.6 会社概要、株式の状況

### 経営理念

わたしたちは「独創の技術」「信頼の品質」  
「万全のサービス」を信条に、自由に着想し、  
グローバルな事業活動を通して界面価値創造を  
実現することで豊かで潤いのある社会と  
環境づくりに貢献します。



社長に聞く!

## 2023年 中間期の業績振り返りと 今後の事業戦略

# 「研究開発型の企業」を堅持し、 生産技術の向上に取り組む



### 民生電子機器が低調 半導体デバイスが在庫調整局面に

当中間期における半導体市場とそれを取り巻くエレクトロニクス関連の製造業は、コロナ禍をきっかけに始まった在宅特需の一巡に加えて、世界的なインフレや緊張状態が続く地政学リスクなどが個人消費や企業の設備投資に影響し、民生電子機器の需要が前年に引き続き低調でした。半導体も先端品はじめ多くの用途の製品在庫調整が続いています。

製品別に見ますと、パソコンやスマートフォン、タブレットPCの需要が低調に推移し、DX\*や5G(第5世代通信)インフラへの投資等で堅調だったデータセンターにおいては、急激に需要が高まる生成AI\*分野が優先され、汎用サーバーの投資は抑制される傾向となりました。

当面、世界の半導体市場は調整局面が続くと予想されていますが、一方で先端半導体の製造工場の新設や増設のための設備投資は堅調であり、市場の拡大を見据えた動きも見られます。

### 電子基板・部品の需要の弱さを受け、 全般に売上減少

ディスプレイ向けエッチング剤「EXEシリーズ」は低調ではあったものの、関連する電子部品の需要に回復の傾向が見られました。一方、半導体を搭載する有機パッケージ基板の銅表面処理剤で独占的シェアを持つ密着向上剤「CZシリーズ」はじめ、多層基板向け「V-Bondシリーズ」、ディスプレイ向け選択エッチング剤「SFシリーズ」は、関連する電子基板・部品の需要の弱さを受けて全般に売上が減少しました。

### 主要製品の今後の見通し

当社主力のCZシリーズは、短期的に半導体市場停滞の影響が残りますが、中期的にはパッケージ基板の大型化、高多層化により需要は拡大していくと見えています。V-Bondシリーズは、車載向けは徐々に半導体不足が緩和するなか、自動車生産は回復基調となり、

代表取締役社長

前田和夫



詳細はホームページ掲載の決算短信をご覧ください。  
[www.mec-co.com/ir/library/](http://www.mec-co.com/ir/library/)



## 2023年 中間期のポイント

押さえておきたい2023年 中間期のポイントを2ポイントにまとめています。

**1** 個人消費の停滞等で、  
前年同期比で減収減益

**2** パッケージ基板の需要増加を見据え、  
北九州市に新工場建設を決定



## 2023年 中間期の実績

	2022年 12月期 中間期	2023年 12月期 中間期	増減
	2022年1月1日～ 2022年6月30日	2023年1月1日～ 2023年6月30日	
売上高 (百万円)	8,127	6,198	23.7% 減↓
営業利益 (百万円)	2,084	838	59.8% 減↓
経常利益 (百万円)	2,374	1,003	57.7% 減↓
親会社株主に 帰属する四半期 純利益 (百万円)	1,661	1,076	35.2% 減↓
1株当たり 四半期純利益 (円)	87.40	56.79	

### 用語解説

■ **DX(デジタルトランスフォーメーション:  
Digital Transformation)**

デジタル (IT) 技術による生活やビジネスの変革

■ **生成 AI (Generative AI)**

画像・文章・音声・プログラムコードなど様々なコンテンツを生成できる人工知能

■ **GX(グリーントランスフォーメーション:  
Green Transformation)**

化石燃料からクリーンエネルギー中心への転換による経済社会システムの変革

スマートフォン向けは個人消費の停滞で需要低迷の影響を受けると予想しています。EXEシリーズは、短期的にはディスプレイの在庫調整の影響を受け、SFシリーズは、スマートフォン向けが技術移行の影響で減少する一方、タブレットPCの需要はなお底堅いと見えています。

### ■ 当面の設備投資計画について

福岡県北九州市と立地協定を結び、2023年10月より同市若松区において新工場の建設に着手する計画です。開設のねらいは大きく分けて二つあり、一つは半導体を搭載するパッケージ基板のさらなる需要増に対応した生産体制を整えること。もう一つは、生産技術のさらなる向上を図ることです。これらの取り組みをスローダウンさせないためにも、2025年1月の稼働を目指しています。

### ■ 経営課題の取り組みと今後の事業推進

中長期的に見て、AI・IoT化、クルマの電動化、DX・GX\*の進展等の技術の広がりを背景に、技術革新が加速し、当社関連市場もさらなる拡大が見込まれます。こうした需要に向けて当社は「密着向上」「微細配線形成」「選択エッチング」等のコア技術を軸とした製品開発に取り組み、タイムリーに市場に提供することを重要な経営課題とするとともに、コア技術を応用して新しいビジネスを創出し、新たな市場を開拓するという成長戦略を描いています。

今後の技術動向として、先端・最先端領域ではパッケージ基板の超高密度化や高多層化、超高周波化が進みつつありますが、これらの需要に向けて、超粗化系タイプの密着向上剤CZシリーズの深耕や無粗化(化学密着)タイプの開発と検証に注力しています。

### ■ 配当政策と自己株式取得について

配当につきましては、従来どおり安定配当を基本に連結配当性向30%を中期目標においております。

なお、2023年5月10日開催の取締役会の決議に基づき、自己株式の取得を行いました。その結果、当期間中に取得した自己株式の総数は、286,000株、株式の取得価額の総額は、899,860,700円となりました。

### ■ 株主の皆様へのメッセージ

当期の世界半導体市場はマイナス成長が予測される一方、次世代プロセッサ生産の本格化や生成AI需要の急激な高まりなど、回復を予見させる動きも一部に見られますが、まだ予断を許さない状況です。そんな中でも当社は「研究開発型の企業であり続ける」という方針を堅持し、価値ある製品を提供するとともに、生産技術のさらなる向上に取り組み、必要な時期に必要な投資を遂行してまいります。今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### 業績推移および製品別・セグメント別販売動向について

**Q** 当中間期の事業環境と業績について教えてください

**A** 主要製品全般が低水準で推移も、一部に回復の兆し

当社グループの関係市場である電子基板・部品業界は、全般にエレクトロニクス業界の影響を受け、関連する当社製品の受注も低水準で推移しました。電子基板関連市場においては、パソコンやスマートフォン、タブレットPC等の民生電子機器用の需要が前年に引き続き低調で、データセンター用のパッケージ基板も汎用分野よりAI分野への投資が優先されました。そのような中においても業界では在庫調整が進んでおり、回復の兆しが見えつつあります。

このような環境のもと、当社グループでは高密度電子基板向け製品の開発、販売に注力いたしました。ディスプレイ向け「EXEシリーズ」は、低調ながらも関連する電子部品に需要回復の兆しが見られました。一方で、半導体を搭載するパッケージ基板向けに高いシェアを持つ超粗化系密着向上剤「CZシリーズ」、多層電子基板向け密着向上剤「V-Bondシリーズ」、ディスプレイ向け「SFシリーズ」は、関連する電子基板・部品の需要の弱さを受け、全般で売上が減少しました。当第1四半期を底に回復の兆しは見えつつあるものの、予断を許さない状況にあります。

その結果、当中間期の売上高は61億98百万円(前年同期比23.7%減)、営業利益は8億38百万円(同59.8%減)、売上高営業利益率は13.5%(同12.1ポイント減)、経常利益は10億3百万円(同57.7%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億76百万円(同35.2%減)となりました。

**Q** 製品別の販売状況を教えてください

**A** 全般で売上が減少

「CZシリーズ」の売上高は37億9百万円(前年同期比26.0%減)、薬品売上高に占める割合は61.0%(同1.4ポイント減)でした。「V-Bondシリーズ」は3億60百万円(同12.9%減)、「EXEシリーズ」は5億44百万円(同18.6%減)、「SFシリーズ」は2億43百万円(同46.0%減)でした。

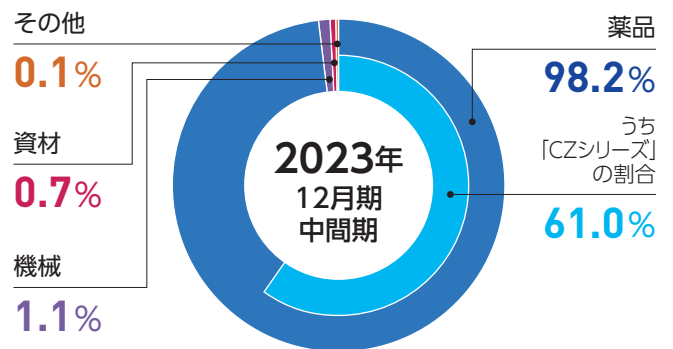
**Q** 地域別の販売動向はどうでしたか?

**A** 欧州の売上増以外は低調

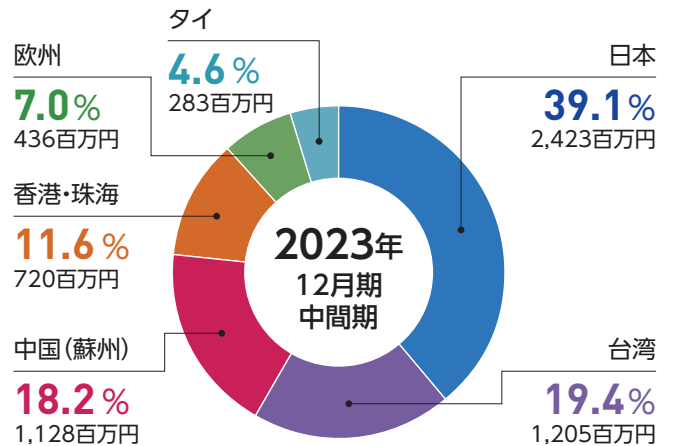
地域別売上高(連結)における海外売上高比率は62.5%(前年同

期比1.2ポイント増)となりました。日本ではパソコンやスマートフォン、サーバーに関連する製品が低調。ディスプレイ向けは低調ながらも、電子部品の需要に回復の兆しが見られました。国内代理店経由で販売している韓国向けは、顧客と代理店における在庫調整が改善しつつあります。台湾も日本と同様の状況でした。香港(香港・珠海)では回復の兆しはあるものの、スマートフォンや自動車に関連する製品が低調。中国(蘇州)は一部顧客で回復の兆しはあるものの、パソコンやスマートフォンに関連する電子基板・部品の需要が弱い影響を受けました。欧州では高いインフレ率のなか顧客の生産活動は低水準でしたが売上は増加。タイは電子基板メーカーの東南アジアにおける設備投資が活発化するなか、新規顧客における生産立ち上がりの遅れや、顧客の生産減少や在庫調整等により低調でした。

売上高に占める品目別割合 (%)



地域セグメント別売上高比率 (%) / 売上高 (百万円)



\* 比率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。

## 新拠点「北九州工場(仮称)」について

当社はデジタル社会の進展による今後の電子基板・部品業界の拡大を見据えて、BCP(事業継続計画)の観点から生産体制の強化を図るため4月18日、福岡県北九州市と企業立地協定を締結し、北九州市若松区に新工場を開設することとしました。北九州市はBCPや人財確保、物流インフラ等総合的な観点から検討し、最適と判断に至りました。2023年10月の着工予定で、2025年1月の稼働を目指しています。

### 新工場概要

所在地: 福岡県北九州市若松区向洋町10番  
敷地面積: 29,889㎡  
総投資額: 約40億円(土地取得費含む)  
生産能力: 約30,000t/年(予定)



完成イメージ

## 株主様向け本社・尼崎事業所 見学会を実施します

下記日程で、メック株式会社本社・尼崎事業所の見学会を開催いたします。当日は会社説明を行った後、事業所内でメックの“ものづくりの現場”を見学していただきます。対象者は当社株式100株以上ご保有の株主様(2023年6月末現在)で、見学ご希望の方は同封の応募ハガキに必要事項をご記入のうえ送付ください。ご応募多数の場合は抽選となりますが、その際、当選発表は当選者様へのご発送(10月27日発送予定)をもって代えさせていただきます。



### 見学会概要

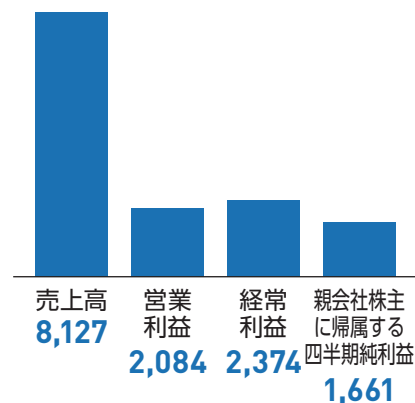
開催日時: 2023年11月30日(木曜日) 13時30分～(終了は16時の予定)  
集合場所: メック株式会社 本社・尼崎事業所  
兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号  
募集人数: 30名様  
応募締切: 2023年10月20日(金曜日)当日消印有効



## 連結損益計算書の概要 (百万円)

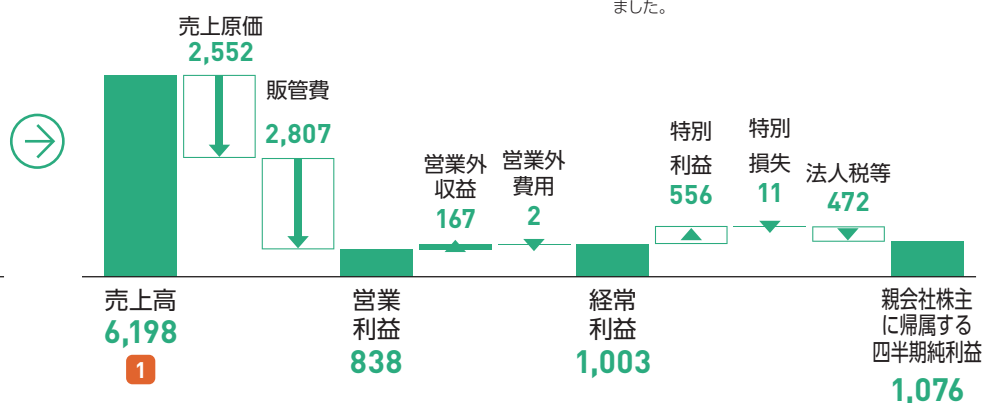
### 2022年12月期 中間期

(2022年1月1日～2022年6月30日)



### 2023年12月期 中間期

(2023年1月1日～2023年6月30日)



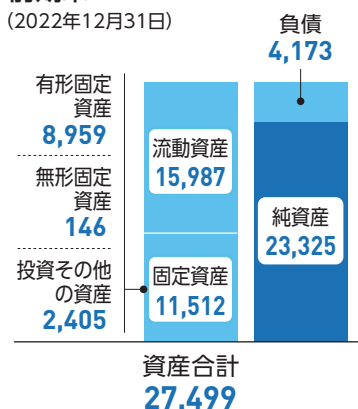
### 1 売上高

薬品売上高は60億85百万円、機械売上高は66百万円、資材売上高は43百万円、その他売上高は3百万円となりました。

## 連結貸借対照表の概要 (百万円)

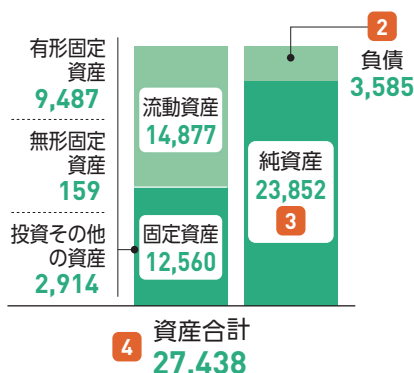
### 前期末

(2022年12月31日)



### 2023年12月期 中間期

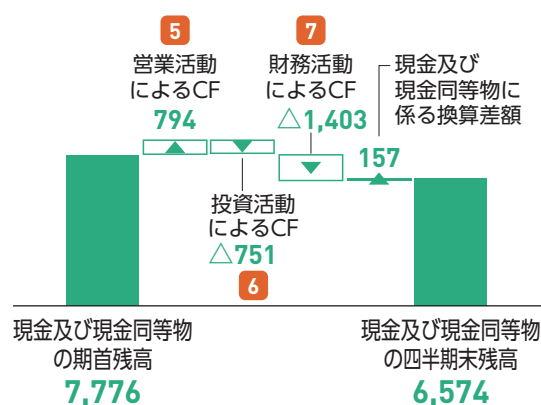
(2023年6月30日)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (百万円)

### 2023年12月期 中間期

(2023年1月1日～2023年6月30日)



### 2 負債

負債は、支払手形及び買掛金や電子記録債務の減少等により、35億85百万円となりました。

### 3 純資産

純資産は、自己株式取得により減少したものの、利益剰余金や為替換算調整勘定の増加等により、238億52百万円となりました。

### 4 資産合計

資産は、投資有価証券や土地が増加したものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少等により、274億38百万円となりました。

### 5 営業活動によるCF

営業活動の結果得られた資金は7億94百万円。これは主に税金等調整前四半期純利益が15億48百万円、減価償却費が3億72百万円、法人税等の支払額が4億18百万円あったこと等によるもの。

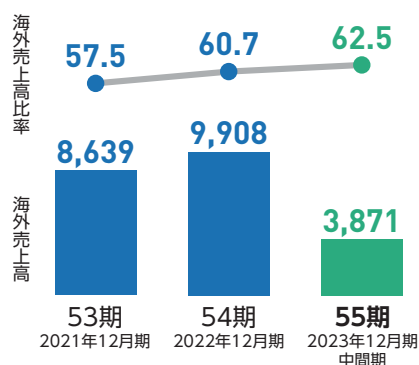
### 6 投資活動によるCF

投資活動の結果使用した資金は7億51百万円。これは主に定期預金の預入による支出が純額で3億53百万円、有形固定資産の取得による支出が12億97百万円、有形固定資産の売却による収入が9億43百万円等によるもの。

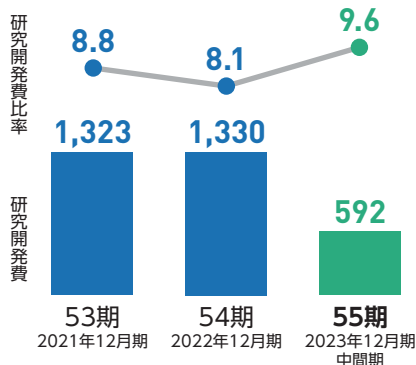
### 7 財務活動によるCF

財務活動の結果使用した資金は14億3百万円。これは主に配当金の支払いが4億96百万円、自己株式の取得による支出が8億99百万円あったこと等によるもの。

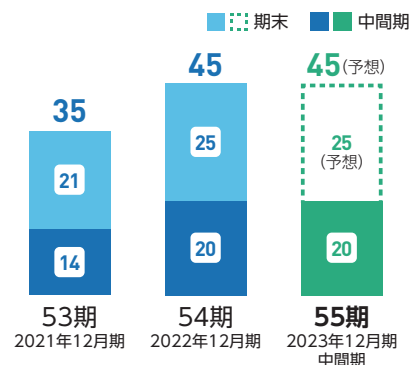
## 海外売上高(百万円)／比率(%)



## 研究開発費(百万円)／比率(%)



## 1株当たりの配当金(円)



# 会社概要

2023年6月30日現在

## 会社概要

商号                   メック株式会社  
本社事務所所在地   兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号  
設立年月日           1969年(昭和44年)5月1日  
資本金                 594,142,400円  
事業内容              電子基板・部品製造用薬品の製造販売  
                         および機械装置、各種資材の販売

## 取締役および執行役員

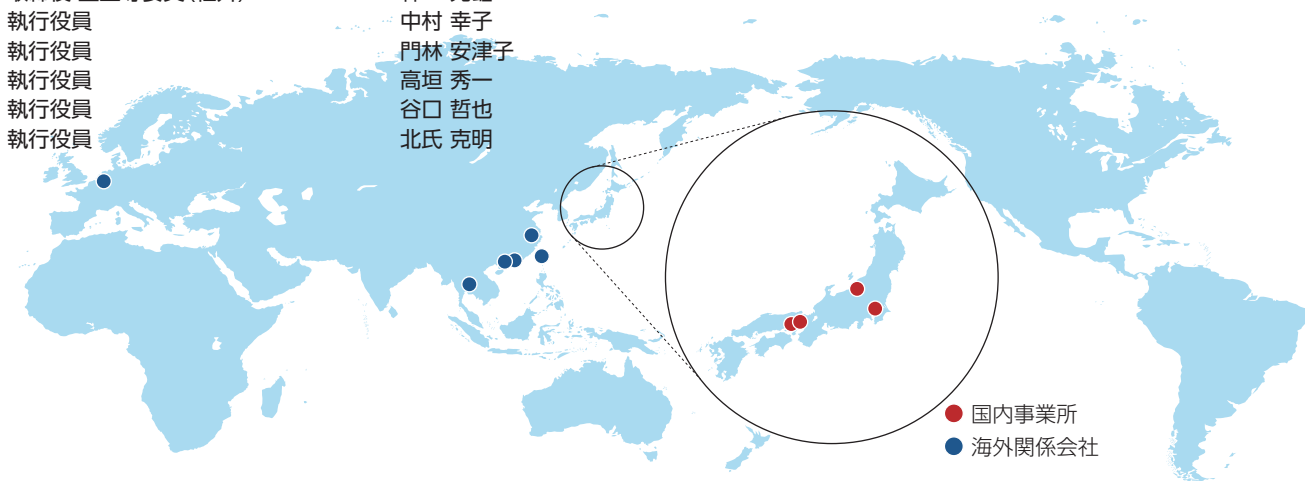
代表取締役社長	前田 和夫
取締役常務執行役員	中川 登志子
取締役常務執行役員	住友 貞光
取締役(社外)	北條 俊彦
取締役 監査等委員会委員長(社外)	高尾 光俊
取締役 監査等委員(社外)	橋本 薫
取締役 監査等委員(社外)	林 光雄
執行役員	中村 幸子
執行役員	門林 安津子
執行役員	高垣 秀一
執行役員	谷口 哲也
執行役員	北氏 克明

## 国内事業所

本社・尼崎事業所  
東京営業所  
長岡工場  
東初島研究所

## 海外拠点

MEC TAIWAN COMPANY LTD.  
MEC EUROPE NV.  
MEC (HONG KONG) LTD.  
MEC FINE CHEMICAL (ZHUHAI) LTD.  
MEC CHINA SPECIALTY PRODUCTS (SUZHOU) CO., LTD.  
MEC SPECIALTY CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.



# 株式の状況

2023年6月30日現在

## 株主状況

発行済株式総数                   **20,071,093 株**  
株主数                                 **5,212 名**

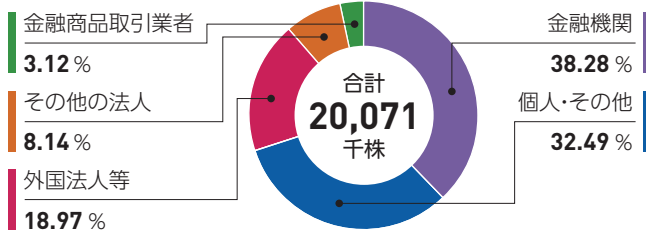
## 大株主の状況

株主名	当社への出資状況	
	所有株数(千株)	持株比率(%)
日本スタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,982	15.79
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	2,944	15.58
株式会社マエダホールディングス	1,199	6.34
前田和夫	726	3.84
前田耕作	555	2.93
メック取引先持株会	554	2.93
住友生命保険相互会社	546	2.89
野村信託銀行株式会社(投信口)	543	2.87
SMBC日興証券株式会社	359	1.90
HSBC-FUND SERVICES CLIENTS A/C 006	326	1.72

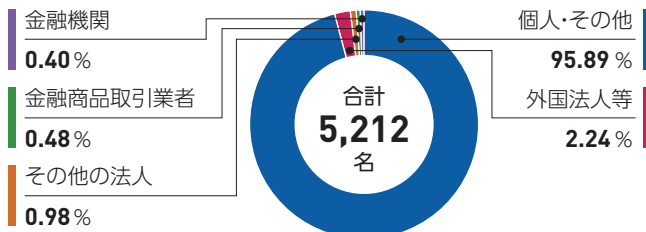
※ 当社は自己株式を1,181千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
※ 持株比率は、自己株式を除く発行済株式の総数に対する比率です。

## 株式分布状況

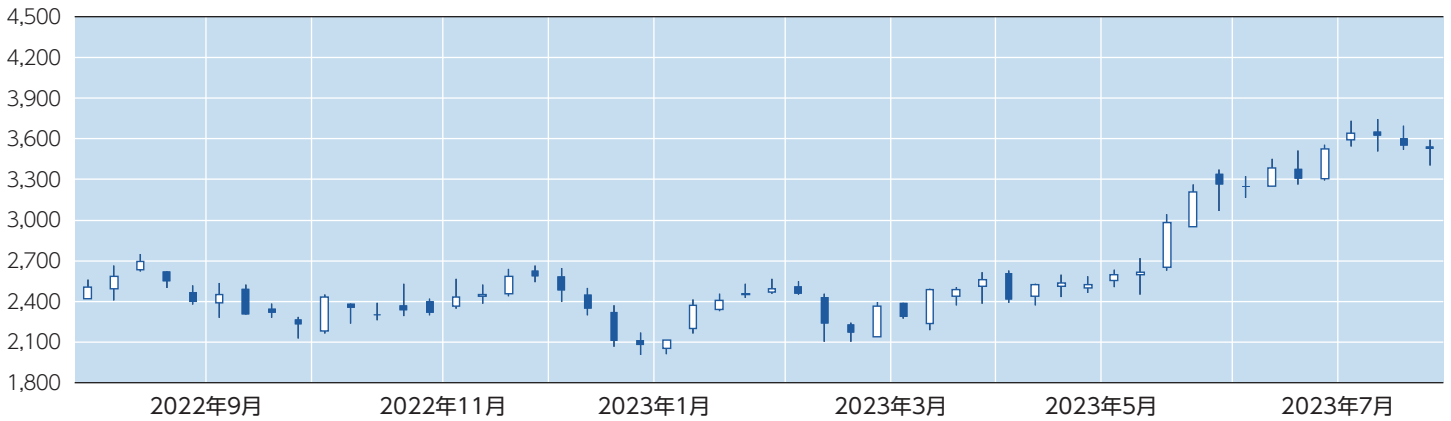
### 所有者別所有株式数



### 所有者別株主数



※ 「個人・その他」には自己株式1,181千株を含んでおります。  
※ 比率は小数点以下第3位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。



株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
期末配当金 受領株主確定日	毎年12月31日
中間配当金 受領株主確定日	毎年6月30日
定時株主総会	毎年3月
単元株式数	100株
株主名簿管理人 および特別口座 の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株式名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先*	TEL. 0120-782-031 (通話料無料) 受付時間 9:00～17:00 (土日休日を除く)
インターネット ホームページURL	www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場
証券コード	4971
公告の方法	電子公告により行う。 公告掲載URL www.mec-co.com/ir/denshi/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

株主優待情報

保有株式数	優待内容	*毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された当社株式100株(1単元)以上保有の株主様を対象といたします。
1,000株未満	QUOカード 1,000円分	
1,000株以上	QUOカード 2,000円分	

株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会

1. 証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
2. 証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記電話照会先\*までご連絡ください。



メック株式会社

本社事務所 / 〒660-0822 兵庫県尼崎市杭瀬南新町三丁目4番1号  
TEL. 06-6401-8160 FAX. 06-6401-8165

URL [www.mec-co.com/](http://www.mec-co.com/)

ニュースメール配信サービスのご案内

当社では、ホームページにニュースリリースや新しいコンテンツが掲載された際に、ご登録者の皆様にそのタイトルとURLを電子メールにてお知らせするサービス(ニュースメール配信サービス)を行っています。  
ご希望の株主様には、こちらのサービスの送信先メールアドレス(携帯電話のメールアドレス不可)を、当社ホームページまたは、RIMSNET (rims.tr.mufg.jp/)から、簡単にご登録いただけます(無料)。

アンケートのお願い

当社では、株主の皆様とのよりよいコミュニケーションを目指し、今後も業績情報の開示の充実に努めていきたいと考えています。  
つきましては、この株主通信に対するご意見、ご感想をお聞かせいただきたくアンケートにご協力をお願いいたします。  
\*ご提供いただきました情報は、本アンケートの集計の目的以外に使用することはありません。

ホームページのご紹介

[www.mec-co.com/](http://www.mec-co.com/)

当社のホームページではプレスリリース、株主通信、サステナビリティ報告書、コーポレート・ガバナンス報告書 他 各種情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

